

プール開き講話（6月21日）

今年は、昨年度に引き続いて、たくさんの時間をとって水泳学習を行います。水泳の学習は、1・2年生の「水遊び」、3年生以上の「水泳運動」に分かれて学んでいきます。特に、3・4年生では「浮いて進む運動」と「もぐる・浮く運動」など、水に浮くことを大切にした学習に取り組みます。

このように水泳の学習は、水と遊んだり、水の力を使って浮いたり、水を利用してもぐったり、進んだりして技を高めていきます。そして、クロールや平泳ぎという泳ぎ方が身に付けられるようにしていきます。

そのためには、まず、水と仲良くしなくてはなりません。水と仲良くするとは、1つ「水に体をまかせて、水のことをよく知ること」、2つ目に「水の動きをよくつかんで、自分がやりたい動きに生かすこと」が大切です。水を嫌ったり、思い通りにしようとしたりすると、水は必ずしっぺ返しをします。水を飲ませて苦しませたり、息ができなくなるようにしたりするのです。

水と仲良くなれば、6年生になったらクロールや平泳ぎの泳ぎ方でプールの端から端まで25m、いやそれ以上の長さの距離を泳ぐことができるようになりますね。

さて、水泳学習について、わかったでしょうか？では、授業のときには、先生方の話をよく聞いて、きまりを守り、安全・安心な学習になるようにしてください。

これで、校長先生の話が終わります。